



2026 年 1 月 30 日

記録的な豪雪による列車等への影響について

1 概況

1 月 25 日の札幌圏での記録的な豪雪及び低温の影響を受けた、多数の駅でのポイント不転換に伴う除雪作業及び列車のブレーキ装置凍結により、運休・遅れが発生しましたが、1 月 26 日 13 時以降、随時運転再開しました。

その後も運転再開した 26 日、また 27 日についてもポイント不転換の多発により、ほぼ終日ダイヤが乱れました。

2 運休列車（1 月 25～27 日）

1,407 本（特急列車：175 本、快速エアポート：345 本、快速・普通列車：887 本）
影響人員 約 414,000 人

3 新千歳空港発の救済列車について（長時間滞留者対応）

（1）25 日深夜

- ・運転本数：6 本（新千歳空港駅 26 日 4：29～8：23 発）
- ・乗客総数計：約 6,800 名

（2）26 日深夜

- ・運転本数：4 本（新千歳空港駅 27 日 0：32～2：21 発）
- ・乗客総数計：約 2,300 名

4 除雪作業時間確保に伴う最終列車の繰り上げ

今後の札幌圏のダイヤの正常化を図るために、しっかり除雪ができるだけの時間を確保する必要があることから、1 月 28 日（水）、29 日（木）に最終列車の繰り上げを行いました。

運休列車（1 月 28～30 日）

262 本（特急列車：40 本、快速エアポート：28 本、快速・普通列車：194 本）

影響人員 約 67,000 人

※駅構内の除排雪状況 … 別紙

5 今後の課題

1 月 25 日において、除雪作業が想定より時間を要し、さらに除雪終了後の運転再開時に長時間停止していた列車のブレーキ装置凍結が発生したため、運転再開見込みが幾度も変更となりました。

（1）運転再開見込みを決定するに当たって

- ① 除雪に必要な時間の見積もり精度の向上
- ② 運転再開後のブレーキ装置凍結のリスクの折り込み

（2）お客様及び関係機関への情報提供

【参考】1/28夜～30早朝にかけての各構内の写真

1. 札幌駅（東構内北側壁面あたりの様子）

（作業前）



（作業後）



2. 手稲駅

（作業前）



（作業後）



3. 苗穂駅
(作業前)



(作業後)



4. 白石駅 (線路切替ポイント部分の様子)
(作業前)



(作業後)

